

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【連携事業】

幹事市町	小山市	※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。
構成市町	小山市、野木町	
事業名	ツール・ド・おやま	
事業主体の名称※	ツール・ド・おやま実行委員会	
代表者の名称※	会長 大久保 寿夫	
事業主体の所在※	栃木県小山市大字外城371-1	
事業主体の概要	団体の目的:ツール・ド・おやまの開催により、サイクルスポーツ・ツーリズムの振興を図るとともに、自転車を活用した安全安心なまちづくりに資する。 設立年月日:平成26年6月23日 構成員等:自転車業・観光業・自治会・警察・消防・行政機関の関係者等	
当該事業に係る地域の現状と課題	小山市は、ラムサール条約湿地登録「渡良瀬遊水地」及びユネスコ無形文化遺産「結城紬」等の世界に誇る地域資源や、市民ひとり1スポーツを推進し世界の舞台で活躍するアスリートを輩出する優れたスポーツ環境を有しているにも関わらず、自治体としての知名度は高いとは言えず、観光客も少ない。 そのため、平成28年度の「スポーツ都市宣言」を契機として、スポーツを活用して広く小山市及び地域資源のPRを行うため、幅広い世代が参加可能で、暮らしの身近にある自転車を活用したイベントとして「ツール・ド・おやま」を開催した。タイムや順位を競うのではなく、サイクリングをしながら景観や食を楽しむことができるこのイベントは、募集開始とともに県内外からエントリーがあり、募集定員を増やした第4回大会も約2週間で定員になるなど、盛況である。 しかし、「ツール・ド・おやま」の知名度は未だ全国的とは言えず、イベント参加者が年間を通して小山市・野木町に來訪するには至っていないため、今後いかにしてリピーターを増やし、年間を通して小山市・野木町に來訪してもらうかが課題となっている。	
事業目的	・サイクルスポーツ・ツーリズムの普及に取り組み、「市民ひとり1スポーツ」を推進する。 ・市外・県外の人から小山市・野木町に來訪するきっかけをつくる。 ・「ツール・ド・おやま」への参加を契機に、小山市・野木町の自然や産物・食・人(おもてなし)等のファンを増やし、年間を通して市外からの交流人口増を図る。 ・(開催に付随して)交通ルール順守の励行による交通マナー向上を図る。	
事業概要	【平成30年度】 ◎第5回ツール・ド・おやまの開催(平成30年11月10日(土)) ※小山市主催の農業祭及びバルーンフェスティバルと同日開催 第4回大会の反省をもとに、大幅なコース変更は実施せず、部分的に修正を加え、更によりコースの設定と、メイン会場の充実を図った。第4回同様小山市地区定住自立圏共生ビジョンにおける連携事業の一環として、一部、野木町を通過する、野木町とのジョイント開催を行った。 (内容) ・サイクル・イベントの実施…75kmコース(中級者向け・募集500名)、55kmコース(一般向け・募集150名)、35kmコース(初心者向け・募集150名) ・休憩所「エイドステーション」の設置…栄養補給のバナナ等のほか、小山市名物おやまうどん、おやま和牛ステーキ串、旨たれ唐揚げを提供 ※ほかにも、多くの市民・町民がボランティアとして参画(路上応援等) ・参加者や来場者に対し、「小山ブランド」のチラシや、「渡良瀬遊水地」で年間を通して行われるイベントの参加者募集に関するチラシを設置した。(1,000部) ・県内自転車プロスポーツ選手による、自転車の安全運転のためのマナー講習(模範走行など) ○開催前のPR活動 ・ポスター(200部)、パンフレット(3,000部)の作成・配布…各公民館、観光協会に加え、市町内小中義務教育学校(43校×20部=860部)、協賛企業(樹伊藤園等市町内15企業×20部=300部)、株JTB関東各店頭(370支店×4部=1480部)に配布(平成30年8月上旬~下旬)。 ・各種自転車団体のHPへのバナー掲載(平成30年8月上旬~下旬)。 ○アンケートの実施 集客方法や当日のおもてなし方法、参加者・来場者が「何があれば」年間を通じて訪問するか等について、参加者の声を聞き、翌年度以降に活かす。 【平成31年度】 第6回ツール・ド・おやまを開催。内容は、前回大会のアンケートをもとに検討・改良する。	
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p><小山市> 【目標】②新しい人の流れの創出 【KPI】観光入込客数〔(H27)320万人⇒(H31)500万人〕〔H29実績 344万人〕</p> <p><野木町> 【基本目標】人を呼び込むための魅力づくり 【数値目標】野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値:59.0%(平成27年度調査)→目標値70.0%(平成31年度調査)【5か年調査のため、平成29年度実績の記載無し】 【KPI】まちづくり(教育のまち)の満足度 現状値:0.29点(平成26年度調査)→目標値0.45以上(平成31年度調査)【5か年調査のため、平成29年度実績の記載無し】</p>	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①第3回ツール・ド・おやま2016 ・80kmコース(中級者向500名)、30kmコース(初心者向200名) ②開催前のPR活動 ③参加者アンケートの実施	①第4回ツール・ド・おやま2017(野木町とジョイント開催) ・75kmコース(中級者向500名)、55kmコース(一般向け150名)、35kmコース(初心者向150名) ②開催前のPR活動 ③参加者アンケートの実施	①第5回ツール・ド・おやま2018(野木町とジョイント開催) ・前回アンケート等をもとに検討・改良 ②開催前のPR活動 ③参加者アンケートの実施		①第6回ツール・ド・おやま2019 ・前回アンケート等をもとに検討・改良 ②開催前のPR活動 ③参加者アンケートの実施
事業費	8,695,819	8,946,029	8,893,406	26,535,254	8,900,000
市町支出金(ソフト事業分)	4,800,000	4,900,000	4,900,000	14,600,000	4,900,000
うち県交付金	1,000,000	1,300,000	1,300,000	3,600,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,895,819	4,046,029	3,993,406	11,935,254	4,000,000

幹事市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯スポーツ課
担当者名	佐立 裕子
電話	0285-21-2695
連絡先 FAX	0285-21-2697
E-mail	d-taiku@city.ovama.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	小山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第5回ツール・ド・おやま2018	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
参加費	3,463,052	75kmチャレンジコース 大人:5,000円×499名+ふるさと納税枠手数料1,836円=2,496,836円 75kmチャレンジコース 小中学生:2,000円×3名=6,000円 55kmエンジョイコース 大人:4,000円×140名+ふるさと納税枠手数料216円=560,216円 55kmエンジョイコース 小中学生:1,500円×10名=15,000円 35kmファミリーコース 大人:3,000円×119名=357,000円 35kmファミリーコース 小中学生:1,000円×28名=28,000円
市支出金	4,900,000	小山市補助金 4,300,000円 野木町補助金 600,000円
諸収入	308,332	協賛金等
繰越金	222,022	繰越金
計	8,893,406	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町支出額	県交付金		
報償費	1,599,181	100,000	0	1,499,181	・看護師・交通指導員・ガイドライダー謝礼・参加賞等
食料費	1,409,232	300,000	0	1,109,232	・各エイドステーション食料一式・ゴール時の飲物代・協力者昼食代等
消耗品費	842,895	800,000	300,000	42,895	・立看板作成費・事務用イベント用消耗品・ナンバーカード制作費
印刷製本費	713,707	550,000	150,000	163,707	・大会ポスター版印刷代 ・大会要項版印刷代
役員 費	86,250	30,000	15,000	56,250	・参加者スタッフ保険料
手数料	68,300	20,000	10,000	48,300	・仮設トイレ汲み取り料
委託料	1,558,764	1,400,000	400,000	158,764	・完走証発行業務委託費・警備員業務委託一式・ホームページ作成委託費
使用料・貸借料	2,081,008	1,600,000	400,000	481,008	・AEDリース料・受付テント、その他資材等借上料・仮設トイレ設置費
通信運搬費	370,407	80,000	25,000	290,407	・参加者への事前資料発送費用
予備費	21,288	20,000	0	1,288	
繰越金	142,374			142,374	
計	8,893,406	4,900,000	1,300,000	3,993,406	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役員費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(連携事業支出整理票)

単位事業名	ツール・ド・おやま	対象年度	30	年度
-------	-----------	------	----	----

科目	予算額 (精算額)	小山市支出額		自主財源等	野木町支出額		自主財源等						
		県交付金			県交付金								
報償費	1,599,181	0	0	1,499,181	100,000	0							
食料費	1,409,232	100,000	0	1,109,232	200,000	0							
消耗品費	842,895	700,000	200,000	42,895	100,000	100,000							
印刷製本費	713,707	550,000	150,000	163,707	0	0							
役務費	保険料	86,250	30,000	15,000	56,250	0	0						
	手数料	68,300	20,000	10,000	48,300	0	0						
委託料	1,558,764	1,300,000	300,000	158,764	100,000	100,000							
使用料及び貸借料	2,081,008	1,500,000	300,000	481,008	100,000	100,000							
通信運搬費	370,407	80,000	25,000	290,407	0	0							
予備費	21,288	20,000	0	1,288	0	0							
繰越金	142,374			142,374									
計	8,893,406	4,300,000	1,000,000	3,993,406	600,000	300,000	0	0	0	0	0	0	0

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。